



第342号  
2005年(平成17年)  
7月11日

発行 明治大学  
編集 明治大学広報部  
TEL 03 (3296) 4083  
E-mail: koho@mics.meiji.ac.jp  
東京都千代田区神田駿河台1-1 (〒101-8301)  
http://www.meiji.ac.jp/

9月16日(金)  
17日(土) **明治大学文化プロジェクト第2回**  
**『マクベス』を上演**

夏季休業期間中の9月16日(金)・17日(土)、駿河台校舎アカデミーホールで明治大学文化プロジェクト第2回『マクベス』が上演される。明治大学が主催し、学生が主体となって行うこのプロジェクトには、明大OBで法学部特別招聘教授の俳優・原田大二郎氏も協力。昨年の第1回『ヴェニス商人』を上回る完成度の高い舞台が期待される。



昨年の第1回文化プロジェクト「ヴェニス商人」



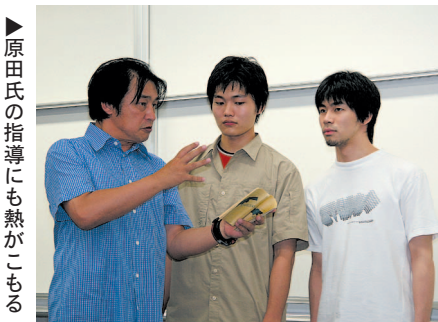
**プロデューサー** 山本康之(文学部3年)

僕は昨年の『ヴェニス商人』に制作チームとして参加して、様々なことを学びました。特に大学生活のなかで、学部・学年を越えて一つのことをやるということは、なかなかできない経験だと思います。今年の『マクベス』は昨年以上に参加者



**演出** 谷賢一(文学部3年)

が集まり、前回は上回るスケールのものでできると確信しています。ご来場をお待ちしています。  
一年間イギリスに留学して、英国人のシェイクスピアとの付き合い方に驚いた。史上最大の詩人と呼ばれる彼の作品をまるで紙粘土と戯れる子供のよう自由に解釈し、コントのネットにしたり、Tシャツ・ジパンで演じたり、現代風に読み替えたり。かび臭い古典ではなく、今に息づいたシェイクスピア。今年の『マクベス』はロックだぜ。ハローキティ。アナーキー。



▶原田氏の指導にも熱がこもる

※お名前、電話番号、観覧希望日、人数をお伝え下さい。

- ◎公式サイト = <http://www.bunkaproject.com>
- ◎メール = [info@bunkaproject.com](mailto:info@bunkaproject.com)
- ◎電話 = 090-6015-4428

- ★明治大学文化プロジェクト 第2回『マクベス』★
- ▼日時 = 9月16日(金)・17日(土)
- ▼18時15分開場 19時00分開演
- ▼場所 = 明治大学駿河台校舎アカデミーコモン3階アカデミーホール
- ▼原作 = W・シェイクスピア
- ▼翻訳 = 松岡和子
- ▼監修 = 原田大二郎(法学部特別招聘教授)
- ▼演出 = 谷賢一(文学部3年)
- ▼主催 = 明治大学
- ▼協賛 = 明治大学連合父母会・明治大学校友会
- ◎入場無料、全席予約制
- ◎申し込み方法 = 7月4日から公式サイト・メール・電話にて受付

**点**

雨の季節に書いています。先日、ちょっとした晴れ間に、近所を歩いていたら歩道にヤマモモの実が無惨に踏みつけられていた。横を見上げると、モダンなマンションの空地に目隠し風に植えられた木に、たわなにヤマモモの赤黒い実がなっていた▼子供の頃の梅雨の季節の思い出は、何といてもヤマモモであり、今でもこの季節には、この甘酸っぱい食味が口の中に蘇ってくる。伊豆あたりの潮風が吹く温暖な地域では、ヤマモモの大木に出くわしたことがある。ただ、意外に枝が脆く、いきおい幹をゆすって実を落とすことになるが、そのぶん痛みやすくもなり、運搬には向かないのかもしれない。東京では口にする機会が減少しない▼「東洋のルソー」と呼ばれた中江兆民の文章に、郷里のヤマモモのことをなつかしむ文章があったと記憶する。兆民は二十歳前に故郷を出て、長崎に行き江戸に出て、以来、故郷で暮らすことはなかった。だから梅雨の候には、ヤマモモの味を思い出したにちがいない▼父母会で兆民の故郷である高知市を訪ねた。ちょっと驚いたのは、県木のヤマモモのことではなく、高知県出身の在学95名のうち、34名が女子学生であったことである。いま、明治大学は在校生の三人に一人が女子学生である時代を迎えようとしている。施設や設備の面だけではなく、そういう地殻の変動に対応できるポリシーを大学は備えておく必要がある▼いたずら心で、ヤマモモ一粒を摘んで口に入れてみたが、意外なほどに故郷の味はしなかった。



# 「体験・農業」に参加しよう!!

## ビバ☆農業体験

昨年の農業体験に参加したきっかけは、生田校舎の掲示板で二人でふと見かけた一枚のチラシだった。「あれっ?農場実習?」実は農学部である私たちは1年生の時、学部の実習として農場実習に行っていたことがあった。その時は農作業を体験できたことと、友達ができただけでもあって、とても楽しい実習だった。その実習に他学部の人と一緒に、しかも格安で再び行けるとは!早速二人で学生相談室に行き、申し込んだ。

当日、朝早く起床し、駿河台校舎へ向かった。眠い中マイクログ

生は進路選択の段階で迷いや不安を抱えている。企業への就職、大学院進学、資格取得、公務員試験などの進路選択に絡む悩みだ。ついこの間まで似たような悩みを抱えていた自分が今こうして彼らの相談に乗っている。少し不思議な気分だ。

学生相談室にやって来る学生の抱える悩みは多岐に渡り、臨床心理士・精神科医、弁護士、インテーカー、教員相談員といったさまざまな相談員が相談にあたり

ものだ。学生相談室を訪れる学

## 相談室の窓から

原 頼 利  
(相談員・商学部専任講師)

彼らを見てみるとちょっと昔の自分がタプって見えてくる。自らの価値観に基づいて自分自身で判断し、それに対して責任をもつべき大人、大学生。進路選択に悩んでいる彼らに私がしてあげられることは本当に限られている。彼らが進路を選択する際に必要と

## 相談員として学生にしてあげられること

として何をすれば良いのか分からなくなる。それならと思ひ、進路選択では何度も不安や悩みを抱えた自分の話をしたりする。部屋の空気が多少変わることがある。学生相談室に對峙する教員相談員といった雰囲気は少しではあるが徐々に和んだものに変わっていく感じだ。

夜の大盛り上がり。渋滞なんて気にならなかつたくらい!本当に短く感じた二日間だった。これからも学生相談室のイベントにぜひ参加したい。そしてまた農業体験を通じていろんな人と知り合いたい!



新しい仲間との交流が広がる

あつという間の「体験・農業」が終わり、帰りのバスではゲーム

夜の大盛り上がり。渋滞なんて気にならなかつたくらい!本当に短く感じた二日間だった。これからも学生相談室のイベントにぜひ参加したい。そしてまた農業体験を通じていろんな人と知り合いたい!

児玉偉文・山口航(ともに農学部3年)

学生部課外教育プログラム・学生相談室共催・連合父母会協賛

## 「体験・農業 in 富士吉田」

- ◇日時: 9月15日(木)~17日(土) 2泊3日
- ◇使用施設: (作業・宿泊) 明治大学富士吉田農場・富士吉田寮
- ◇費用: 6,000円(宿泊費、往復貸切バス代、食事7食分等含む)
- ◇募集人数: 30名(先着順。定員になり次第締切)
- ◇申込: 7月11日(月)12時~(参加費持参で申込場所へ)
- ◇申込場所: (各地区) 学生課・学生相談室・留学生談話室  
国際交流センター
- ◇問い合わせ: 各地区学生課・各地区学生相談室  
※詳細はポスター、ちらしでご確認ください

## 2005年度岸本辰雄記念奨学生募集要項

### 1. 奨学金の種類・給付額・資格について

- (1) 第1種奨学金 月額5万円 「学業成績が特に優秀であり、かつ、時代を切り開く創造性が豊かであると認められる者」  
資格: 学部2年生以上で、前年度までの累計成績が、2年生はGPA 3.2以上、3・4年生は評定平均4.5 [(優×5+良×3+可×2)÷科目数] 以上の者
- (2) 第2種奨学金 月額3万円 「原則として、関東以外の県から本大学に入学し、自活する者」  
資格: 両親ともにいない者で、自活している者
- (3) 第3種奨学金 年額10万円 「スポーツ又は文化活動において、著しく優秀な成績を収めた者」  
資格: 本学入学後、スポーツ又は文化活動において、著しく優秀な成績を収めた者 ただし、体育会所属学生は応募資格がありません
- (4) 第4種奨学金 月額2万円 「身体に障害を持ち、かつ、教育上経済的援助が必要であると認められる者」  
資格: 身体に障害を持ち、かつ、教育上経済的援助が必要であると認められる者
- (5) 第5種奨学金 年額10万円 「年齢に関係なく、勉学の意欲を持つ者」

資格: 25歳以上で本学に入学し、学部2年生以上で、前年度までの累計成績が、2年生はGPA 2.6以上、3・4年生は評定平均4.0以上の者

(6) 第6種奨学金 年額10万円 「ボランティア活動などの社会福祉を積極的に奨励し、顕著な活動を行ったと認められる者」  
資格: 本学入学後、ボランティア活動などの社会福祉を積極的に奨励し、顕著な活動を行ったと認められる者

2. 出願締切  
9月26日(月)
3. 選考方法について  
一次は書類選考、二次は一次選考合格者から面接を行い、奨学金委員会で推薦決定します。
4. 募集要項・願書の請求先及び提出先  
(駿河台) 学生厚生課(和泉) 和泉学生課(生田) 生田学生課
5. 採用者発表(各奨学金掲示板にて発表します)  
2005年11月(予定)
6. 奨学金振込  
2005年12月(予定)



**西谷尚徳 (にしたに・ひさのり)**  
 04年の東京六大学野球春季リーグ戦で主将として12季ぶりの優勝に貢献。大学通算3割3厘、3本塁打、27打点、ベストナイン3回。04年ドラフト4位で東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。内野手。178cm・77kg。右投左打。05年文学部卒。

プロ野球  
**文武両道**



野球教室にも積極的に関わっていきたい

これまでの野球人生を通じて恵まれた良き指導者たちとの出会いが大きく影響したのか、僕もプロ野球選手を目指す一方で教職にも興味を持つようになり、高校の国語の教員免許を取得しました。

教員免許といえは、ちょうど今の時期は教育実習に行く人も多いと思います。僕の場合は母校の埼玉県立鷲宮高校で3年生の現代文を受け持ちました。実際に教壇に立つにあたっては、いかに高校生の年代の気持ちに立ち返って教えることができるか、どのように教えれば分かりやすく伝わるのか、ということに心を配りました。それはとても難しく歯ごたえのあるもので、試行錯誤を重ねながらの2週間ではありましたが、生徒から「先生の授業はわかりやすい」との言葉をもらったので嬉しかったです。また、授業以外でも野球部とソフトボール部で一回ずつ指導し、こうした教室を離れた交流も良い経験になりました。実習の最後に生徒から色紙をプレゼントされ

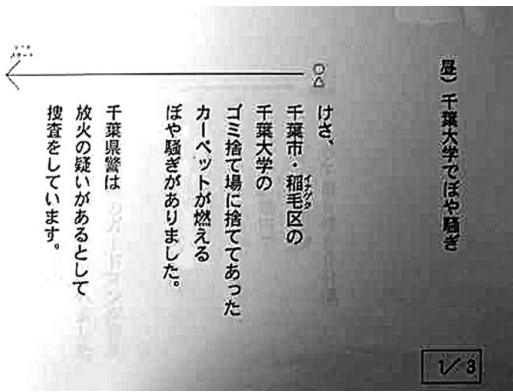
た時は、感無量でした。今とってみると、少しはじめにやりすぎたかな、という気もします。せっかくの機会だったので、もっと楽しんで実習することができれば良かったと思います。

大学の授業で印象に残っているのは、1年生の時の担任、内村和至先生の「文芸学基礎研究」です。レジュメを作成して発表する、という授業の流れが勉強になりました。先生の厳しいご指導は、学問のみならず人間力を学ぶ、という意味でもとても糧になりました。

野球と学業を両立できた大学生活。野球部員だからといって授業が免除されるわけではなかったので忙しかったですが、どちらも悔いなく完全燃焼できたことは、今となればよい経験です。ただ、心残りも、4年生の時、ある程度単位が取れていたのですが、家庭教師のアルバイトをしたかったのですが、野球部でキャプテンを務めることになってできなかったことです。

**R**ookie's **R**eport ルーキー・レポート③

実際のニュース原稿



報道  
**報道局社会部に配属**



**岩波孝祥 (いわなみ・たかよし)**  
 高校生時に「飢餓人口8億以上」という新聞記事を読み、国際協力に携わる仕事を志す。大学入学後、「世の中の関心を貧困問題に向かわせたい」とマスコミへの就職を決意、TBSテレビに報道職として入社。マスコミ研究室29期生。05年農学部卒。

6  
 月1日から報道局社会部に配属された。社会部は事件・事故から台風情報まで、まさに森羅万象を扱う部署。突発的な出来事に対処するため、夜中にたたき起こされ、現場に駆けつけるという事は珍しくない。スピードと正確性を要するこの仕事は難しく、毎日、叱られるから仕事をしている。

今回は早速してしまった失敗のひとつ。6月中旬の日曜日の午前、千葉県に駐在のカメラマンから、「千葉大学で火が上がっている」という連絡が入った。昼のニュースでオンエアすることになり、カメラマンは現場に向かい、私は原稿を書くことになった。原稿は、警察の広報担当の話を基に詳しい内容を問い合わせ、体裁を整えることになった(速報性が武器のテレビニュースは内容により現場に記者が向かわないことが多い)。広報に問い合わせると「学生会館でのぼやみたいです」との回答だった。私はその内容から、リ

ド文に「けき、千葉大学の構内で、ゴミ捨て場に捨ててあったカーペットが燃えるぼやがありました」とした原稿を、デスクに提出した。しかし、社内に届いた映像を見ると、決してぼやのような小さい焼け跡ではなく、壁をひどく焦がした立派な火事であった。私は「広報が言うのだから」と正しい判断をできずにその映像を編集してもらい、「ぼや」として、オンエアしてしまった。当然、カメラマンからはクレームがあった。「現場に行っているのは警察の広報担当ではなく、カメラマン。分からないことがあったら、遠慮なく、訊くように」と。

テレビニュースは映像、原稿、スーパーなど多くの要素で成り立っている。一つ一つの専門の人と連携しなくては、ニュースを完成できないところがテレビニュースの難しさのひとつだ。テレビの視聴率1%は100万人、10%は1000万人の視聴者を意味する。自分の出した情報の影響力とその怖さを実感した出来事だった。



# 2004年度決算と2005年度予算

## 2004年度決算の内容

2004年度決算について(第1表)「一般会計資金収支計算書」を中心に科目別に内容を説明します。

### 収入の部

収入総額は708億9千万円で、予算比5億4千万円の減です。

- 1、「学生生徒等納付金収入」は337億1千万円。予算比3億8千万円の減です。(第1表)
- 「消費収支計算書」における帰属収入に占める「学生生徒等納付金」の割合(学生生徒等納付金比率)は75・3%で、前年度決算に比べ2・4%減少しています。(第2表)
- 2、「手数料収入」は、26億3千万円。主なものは「入学検定料収入」の25億9千万円です。
- 3、「寄付金収入」は、3億8千万円。このうち教育・研究の充実、発展の経費および施設拡充のための「教育振興協力資金」には、個人・団体・法人あわせて1億9千万円をいただきました。
- 4、「補助金収入」は、46億5千万円。予算比5億3千万円の増収となっています。主な内訳は次の通りです。
  - ①「国庫補助金」は、42億4千万円。このうち大学・短大に對する「経常費補助金」は、37億5千万円の交付を受けました。また「研究設備・装置補助金」4億7千万円の他に外国人留学生修学援助費補助金等が含まれています。
  - ②「地方公共団体補助金収入」は、3億5千万円。主に高等学校・中学校に對する東京都から交付された補助金です。
  - ③「その他の補助金収入」は7千万円。主に事業創出実用化研究開発事業補助金です。
  - 5、「資産運用収入」は、9億4千万円。「第3号基本金運用収入」5千万円、各種積立金および運転資金等の「受取利息・配当金収入」6億1千万円および「施設設備利用料収入」2億8千万円です。
  - 6、「資産売却収入」の、24億3千万円は、資金の効率運用のため前年度末に保有していた短期運用債権の売却収入です。
  - 7、「事業収入」は、3億9千万円。農場及び診療所収入と受託事業収入です。
  - 8、「雑収入」は、19億8千万円。内訳は「私立大学退職金財団交付金収入」10億9千万円のほか、「リバティアアカデミー受講料収入」の2億1千万円、入試要項頒布代金・公開講座受講料等の「その他の雑収入」4億1千万円、教職員が拠出する「年金掛金収入」2億7千万円です。

9、「前受金収入」は、66億円。2005年度新入生入学手続時の納付金のうち、当期に受け入れた分です。

10、「その他の収入」は、45億1千万円の主な内訳は、「退職給与引当資産からの繰入収入」4億2千万円、当期に竣工・支払いを行った和泉メディア棟について、前期末までに積み立てていた「新学部・学科設置引当資産」から一般会計に繰り入れた18億円。貸付奨学金等の「貸付金回収収入」7億7千万円。「前期末未収入金収入」13億9千万円です。

11、「資金収入調整勘定」は、前記の各収入のうち、当期に実際の資金の受け入れがなかったものが81億7千万円であることを示す控除科目であり、内訳は「期末未収入金」が16億4千万円、「前期末前受金」が65億2千万円です。

12、「前年度繰越支払資金」は、208億3千万円は、2003年度から当期に繰越した支払資金の額です。

80億1千万円、その他「役員報酬支出」・「退職金支出」等で30億7千万円です。

2、「教育研究経費支出」は100億6千万円。予算比5億9千万円の執行残は、各キャンパスにおける水道光熱費や通信運搬費に係る経費節減と調達努力の他に適宜な予算執行の見直しによるものです。

3、「管理経費支出」は、15億1千万円。予算比1億5千万円の執行残は、小川町校舎解体工事繰延によるもの他は調達努力によるものです。

4、「借入金等利息支出」1千万円は、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金利息です。

5、「借入金等返済支出」は、9千万円。日本私立学校振興・共済事業団への返済です。

6、「施設関係支出」67億1千万円の主な内容は、「土地支出」が黒川用地購入、「建物支出」が和泉メディア棟新築工事等、「構築物支出」は西調布合同合宿所整備等があります。

7、「設備関係支出」は22億9千万円。主な内訳は和泉メディア棟関連情報機器、及び、「図書支出」等です。

### 支出の部

支出総額は収入と同額の708億9千万円です。以下、支出の部の款別内訳は次のとおりです。

1、「人件費支出」、249億2千万円。予算比1億6千万円の減となっています。主な支出内訳は、「教員人件費支出」138億4千万円、「職員人件費支出」

10、「予備費」は、予算4億円のうち、2億1千万円を使用しました。

11、「資金支出調整勘定」は、前記各支出のうち、当期に実際の資金の支払いがなかったものが55億円であることを示す控除科目であり、内訳は、「期末未払金」が54億4千万円、「前期末前払金」が6千万円です。

12、「次年度繰越支払資金」の214億5千万円は、2005年度へ繰り越した支払い資金の額です。収入の部の「前年度繰越支払資金」より6億3千万円上回っていますが、当期において「現・預金」有高がそれだけ増加したことを意味しています。

「資金収支」と消費収支の決算により、2004年度末の資産・負債および基本金の状況を表したのが「貸借対照表(第3表)」です。資産の総額1,901億1千万円は、前年度比49億9千万円の増加となっています。負債の総額395億2千万円は、前年度比10億1千万円増加しています。

資産の総額から負債の総額を差し引いた「正味資産額」は、1,506億円となり、前年度比39億8千万円増加しています。この正味資産の額は、「基本金」および「消費収支差額の部」で表されています。

2005年度予算について(第4表)「一般会計資金収支計算書」を中心に科目別に内容を説明します。

収入総額は675億5千万円であり、前年度と比較して42・8億円(6・0%)の減となっています。

1、「学生生徒等納付金収入」は、330億6千万円を計上。会計専門職研究科・臨床心理学専攻の新設による収容定員増はありますが、臨時定員分在学生減少などにより、前年度比10・3億円(3・0%)の減収です。

2、「手数料収入」は、25億2千万円を計上。主な内容は、「入学試験料収入」24億8千万円、2006年度入学者志願者数を8

4,364人と見込んでいます。

3、「寄付金収入」は、7億8千万円を計上。主な「特別寄付金収入」の内容は、教育振興協力資金として7億円、「指定寄付金」で創立記念事業募金として、商学部・政経学部合計で2千万円、その他研究所指定寄付金等を6千万円計上しています。

4、「補助金収入」は、36億7千万円を計上しています。

①「国庫補助金収入」は、32億6千万円を計上。このうち「経常費補助金」は30億円、「研究設備補助金」は5千万円、「研究装置等補助金」は1億9千万円を計上。

## 2005年度予算の内容

### 貸借対照表

「資金収支」と消費収支の決算

により、2004年度末の資産・負債および基本金の状況を表したのが「貸借対照表(第3表)」です。

資産の総額1,901億1千万円は、前年度比49億9千万円の増加となっています。負債の総額395億2千万円は、前年度比10億1千万円増加しています。

資産の総額から負債の総額を差し引いた「正味資産額」は、1,506億円となり、前年度比39億8千万円増加しています。この正味資産の額は、「基本金」および「消費収支差額の部」で表されています。

2005年度予算について(第4表)「一般会計資金収支計算書」を中心に科目別に内容を説明します。

収入総額は675億5千万円であり、前年度と比較して42・8億円(6・0%)の減となっています。

1、「学生生徒等納付金収入」は、330億6千万円を計上。会計専門職研究科・臨床心理学専攻の新設による収容定員増はありますが、臨時定員分在学生減少などにより、前年度比10・3億円(3・0%)の減収です。

2、「手数料収入」は、25億2千万円を計上。主な内容は、「入学試験料収入」24億8千万円、2006年度入学者志願者数を8

4,364人と見込んでいます。

3、「寄付金収入」は、7億8千万円を計上。主な「特別寄付金収入」の内容は、教育振興協力資金として7億円、「指定寄付金」で創立記念事業募金として、商学部・政経学部合計で2千万円、その他研究所指定寄付金等を6千万円計上しています。

4、「補助金収入」は、36億7千万円を計上しています。

①「国庫補助金収入」は、32億6千万円を計上。このうち「経常費補助金」は30億円、「研究設備補助金」は5千万円、「研究装置等補助金」は1億9千万円を計上。

②「地方公共団体補助金収入」は、3億4千万円を計上。これは、主に高等学校・中学校に對する「東京都補助金」で

5、「資産運用収入」は、9億1千万円を計上。主に「受取利息・配当金収入」および施設設備貸出による利用料収入です。

6、「資産売却収入」は、30億円を計上。前年度末に保有する短期運用債券買い換えのための売却収入です。

7、「事業収入」は、2億4千万円を計上。内容は「農場収入」、「診療所収入」、「受託事業収入」です。

8、「雑収入」は、23億5千万円を計上。主なものは「私立大学退職金財団交付金収入」、「年金掛金収入」、「リビティアカデミア受講料収入」等があります。

9、「前受金収入」は、68億1千万円を計上。主に年度内に受け入れる2006年度新入生の学生生徒等納付金の見込額です。

10、「その他の収入」は、26億4千万円を計上。主なものは奨学金等の「貸付金回収収入」、「前期末未収入金収入」等です。

11、「資金収入調整勘定」は、75億円を計上。これは、「期末未収入金」および「前期末前受金」を収入予算額から控除するものです。

12、「前年度繰越支払資金」は、190億8千万円を計上。前年度末の現預金有高の見込額です。

**支出の部**

1、「人件費支出」では、262億3千万円、前年度比11億7千万円の増です。「教員人件費支出」には、採用増額分を見込んでいます。

2、「教育研究経費支出」は、17億8千万円を計上。前年度と比較して11億7千万円(11.0%)の増加です。

3、「管理経費支出」は、15億8千万円。前年度比5千万円の減です。

4、「借入金等利息支出」は、1千万円を計上。私学振興・共済事業団等からの借入金利息です。

5、「借入金等返済支出」は、6千万円を計上。これは契約に基づく日本私立学校振興・共済事業団等への返済です。2005年度未借入金残額は1億1千万円になります。

6、「施設関係支出」は、11億4千万円を計上。「建物支出」、「構築物支出」の他に「建設仮勘定支出」があります。

7、「設備関係支出」は、17億1千万円を計上。主なものは、「教育研究用機器備品支出」が10億1千万円、「その他の機器備品支出」5千万円。理工・農学部、教育研究用機器備品、研究装置補助対象購入機器等です。他には「図書支出」6億5千万円です。

8、「資産運用支出」は、50億3千万円を計上。これは短期有価証券購入の「有価証券購入支出」、奨学金基金等への積立、明高中学校舎建設への積立等です。

9、「その他の支出」は、57億3千万円を計上。「貸付奨学金支出」および前年度支出科目のうち実際の資金の支払いが当期になる「前期末未払金支出」等です。

**2005年度予算の特徴**

2005年度は、2004年度の新学期・新大学院に続き、会計専門職研究科、文学研究科臨床人間学専攻が開設されました。このため、教育・研究改革の推進、学生の修学活動の援助および社会との連携を推進する各項目に効果的な予算措置が必要となります。

本学では、2005年度の予算編成においては、「重点的な予算編成を行い、効率的な財政運営を行うため」に、従来方法の、予算管理部署からの支出予算要求額を審議資料に載せ、積み上げ形式で要求額を審議する方式から、新方法は予定経費を「経常経費」「収入支出関連経費」および「政策経費」に区分して審議する方式に変更しました。

これにより、例えば、教育改革支援・推進、教員研修(FD活動)の継続・促進、国家試験対策強化、認証評価対応組織体制整備、大型研究プロジェクトの実施、秋葉原クロスフィールドへの研究拠点化計画参画、社会連携促進知財本部整備事業への実施計画、奨学金事業の拡充計画等への配慮が可能となりました。

※今回から、勘定科目名を文部科学省用の科目名に統一して表示。

〈第1表〉2004年度 一般会計資金収支計算書

(収入の部)			(支出の部)		
科 目	決 算 額	予算比差異	科 目	決 算 額	予算比差異
学生生徒等納付金収入	33,710,093	△ 383,076	人件費支出	24,924,621	△ 157,652
手数料収入	2,628,339	64,251	教育研究経費支出	10,064,834	△ 591,596
寄付金収入	384,799	3,699	管理経費支出	1,511,312	△ 149,227
補助金収入	4,654,910	526,103	借入金等利息支出	10,957	△ 43
資産運用収入	935,738	152,129	借入金等返済支出	89,188	0
資産売却収入	2,427,876	△ 572,124	施設関係支出	6,714,673	△ 339,659
事業収入	388,291	177,501	設備関係支出	2,287,828	△ 1,066,298
雑収入	1,984,835	133,220	資産運用の支出	4,022,144	△ 20,640
前受金収入	6,604,592	190,620	その他支出	5,308,802	△ 98,096
その他の収入	4,507,474	55,362	予備費		△ 194,246
資金収入調整勘定	△ 8,166,986	増 888,590	資金支出調整勘定	△ 5,501,886	増 1,759,413
前年度繰越支払資金	20,825,600		次年度繰越支払資金	21,453,089	増 3,835,966
収入の部合計	70,885,562	△ 540,905	支出の部合計	70,885,562	△ 540,905

〈第2表〉2004年度 一般会計消費収支計算書

(消費収入の部)			(消費支出の部)		
科 目	決 算 額	予算比差異	科 目	決 算 額	予算比差異
学生生徒等納付金	33,710,093	△ 383,076	人件費	24,553,856	179,158
手数料	2,628,339	64,251	教育研究経費	14,348,425	△ 806,728
寄付金	484,874	43,774	管理経費	1,614,387	△ 121,635
補助金	4,654,910	526,103	借入金等利息	10,957	△ 43
資産運用収入	935,738	152,129	資産処分差額	251,820	△ 92,555
事業収入	388,291	177,501	徴収不能引当金等繰入額	27,958	16,958
雑収入	1,984,835	133,220	消費支出の部合計	40,807,404	△ 824,845
帰属収入合計	44,787,081	713,903	当年度消費収支超過額	△ 858,888	
基本金組入額合計	△ 4,838,565	減 281,937	前年度繰越消費支出超過額	△ 8,001,584	
消費収入の部合計	39,948,516	995,840	翌年度繰越消費支出超過額	△ 8,860,472	

〈第3表〉貸借対照表(2005年3月31日)

(資産の部)			(負債の部)		
科 目	本年度末	増・減(△)	科 目	本年度末	増・減(△)
固 定 資 産	156,740,372	3,367,399	固 定 負 債	25,718,614	△ 441,334
有 形 固 定 資 産	118,965,337	4,464,930	長 期 借 入 金	111,100	△ 70,569
土 地	24,250,417	1,070,000	退 職 給 与 引 当 金	13,088,452	△ 423,317
建 物	69,669,842	2,882,895	年 金 引 当 金	12,519,062	52,552
構 築	2,100,767	△ 23,255	流 動 負 債	13,796,409	1,452,786
教 育 研 究 用 機 器 備 品	7,767,771	372,196	短 期 借 入 金	55,550	△ 18,619
そ の 他 の 機 器 備 品	167,757	△ 63,827	前 受	6,604,592	80,786
図 車	14,985,765	485,386	未 払	5,441,863	1,301,529
建 設 仮 勘 定	11,289	△ 3,913	預 り	1,694,404	89,089
	11,729	△ 254,552	負 債 の 部 合 計	39,515,023	1,011,452
そ の 他 の 固 定 資 産	37,775,035	△ 1,097,531			
借 地 権	4,287	0	(基本金の部)		
電 話 加 入 権	17,432	0	科 目	本年度末	増・減(△)
施 設 賃 借 権	3,360	△ 840	第 1 号 基 本 金	153,044,371	6,587,899
有 価 証 券	124,250	0	第 2 号 基 本 金	0	△ 1,803,824
長 期 貸 付 金	5,718,869	34,687	第 3 号 基 本 金	3,782,451	17,490
退 職 給 与 引 当 資 産	13,088,452	△ 423,317	第 4 号 基 本 金	2,632,000	37,000
年 金 引 当 資 産	12,519,062	52,552	基 本 金 の 部 合 計	159,458,822	4,838,565
新 学 部 ・ 学 科 設 置 引 当 資 産	0	△ 1,803,824			
第 3 号 基 本 金 引 当 資 産	3,782,451	17,490	(消費収支差額の部)		
特 定 引 当 資 産	516,872	25,720	科 目	本年度末	増・減(△)
施 設 備 整 備 引 当 資 産	2,000,000	1,000,000	翌年度繰越消費支出超過額	△ 8,860,472	△ 858,888
流 動 資 産	33,373,001	1,623,729	消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 8,860,472	△ 858,888
現 金 預 金	21,453,089	627,489	負 債 の 部 ・ 基 本 金 の 部 及 び 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	190,113,373	4,991,129
短 期 貸 付 金	1,039,950	85,195			
未 収 入 金	1,660,258	251,683			
前 受 引 当 資 産	775,459	△ 10,557			
前 払 証 金	250,694	190,672			
有 価 証 券	2,004	504			
	8,191,547	478,744			
資 産 の 部 合 計	190,113,373	4,991,129			

〈第4表〉2005年度 一般会計資金収支予算書

(収入の部)			(支出の部)		
科 目	予 算 額	前年度比増・減(△)	科 目	予 算 額	前年度比増・減(△)
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	33,059,179	△ 1,033,990	人 件 費 支 出	26,227,228	1,165,146
手 数 料 収 入	2,518,462	△ 45,626	教 育 研 究 経 費 支 出	11,781,745	1,170,578
寄 付 金 収 入	777,930	396,830	管 理 経 費 支 出	1,583,982	△ 53,373
補 助 金 収 入	3,673,371	△ 5,436	借 入 金 等 利 息 支 出	8,000	△ 3,000
資 産 運 用 収 入	910,894	127,285	借 入 金 等 返 済 支 出	63,060	△ 11,110
資 産 売 却 収 入	3,000,000	0	施 設 関 係 支 出	1,140,570	△ 5,166,665
事 業 収 入	241,195	30,405	設 備 関 係 支 出	1,709,506	△ 1,644,620
雑 収 入	2,353,110	501,495	資 産 運 用 支 出	5,025,000	982,216
前 受 金 収 入	6,809,132	395,160	そ の 他 の 支 出	5,734,230	761,001
そ の 他 の 収 入	2,635,436	△ 1,780,528	予 備 費	400,000	0
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 7,503,961	増 438,791	資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 4,440,996	増 718,546
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	19,077,246	△ 2,422,754	次 年 度 繰 越 支 払 資 金	18,319,669	△ 757,577
収 入 の 部 合 計	67,551,994	△ 4,275,950	支 出 の 部 合 計	67,551,994	△ 4,275,950

〈第5表〉2005年度 一般会計消費収支予算書

(消費収入の部)			(消費支出の部)		
科 目	予 算 額	前年度比増・減(△)	科 目	予 算 額	前年度比増・減(△)
学 生 生 徒 等 納 付 金	33,059,179	△ 1,033,990	人 件 費	25,718,669	1,343,971
手 数 料	2,518,462	△ 45,626	教 育 研 究 経 費	16,327,094	1,159,974
寄 付 金	837,930	396,830	管 理 経 費	1,694,673	△ 29,383
補 助 金	3,673,371	△ 5,436	借 入 金 等 利 息	8,000	△ 3,000
資 産 運 用 収 入	910,894	127,285	資 産 処 分 差 額	240,906	△ 103,469
事 業 収 入	241,195	30,405	徴 収 不 能 引 当 金 等 繰 入 額	11,000	0
雑 収 入	2,353,110	501,495	消 費 支 出 の 部 合 計	44,000,342	2,368,093
帰 属 収 入 合 計	43,594,141	△ 29,037	当 年 度 消 費 収 支 超 過 額	△ 4,141,271	
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 3,735,070	減 740,432	前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	△ 10,486,157	
消 費 収 入 の 部 合 計	39,859,071	711,395	翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	△ 14,627,428	



# 大学史の散歩道

67

大学史資料センター所長

渡辺 隆喜 (文学部教授)

## 保安条例と明治法律学校 — 創立期の学生運動 —

高知県校友総会が、先日、高知市で開かれた。大学側より出席した筆者は、「自由は土佐の山間より」の名言を残した自由民権運動と、明治法律学校(明治大学)とのかわりについて紹介した。フランス法により「権利自由」「独立自治」を建学理念とする明治法律学校と、日本的「自由」の樹立をめざす土佐中心の自由民権運動との相関である。明治法律学校がなかく板垣退助の自由党系の、壮士養成機関と目された理由も、明治

高知県校友総会が、先日、高知市で開かれた。大学側より出席した筆者は、「自由は土佐の山間より」の名言を残した自由民権運動と、明治法律学校(明治大学)とのかわりについて紹介した。フランス法により「権利自由」「独立自治」を建学理念とする明治法律学校と、日本的「自由」の樹立をめざす土佐中心の自由民権運動との相関である。明治法律学校がなかく板垣退助の自由党系の、壮士養成機関と目された理由も、明治

高知県校友総会が、先日、高知市で開かれた。大学側より出席した筆者は、「自由は土佐の山間より」の名言を残した自由民権運動と、明治法律学校(明治大学)とのかわりについて紹介した。フランス法により「権利自由」「独立自治」を建学理念とする明治法律学校と、日本的「自由」の樹立をめざす土佐中心の自由民権運動との相関である。明治法律学校がなかく板垣退助の自由党系の、壮士養成機関と目された理由も、明治

# 朝野新聞

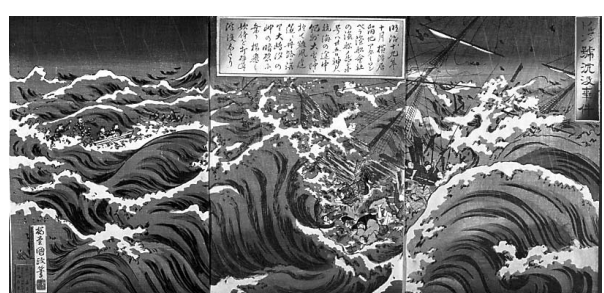
第四千二百四十八號  
明治二十一年七月七日  
大 阪 日  
第三四十九分  
昨日正午第三十七分  
昨日正午第三十七分

官報  
明治二十一年七月七日  
内閣總理大臣伯爵伊藤博文  
司法 大臣伯爵山田顯義

○勅令第六十七號  
第一條  
凡ソ秘密ノ結文ハ奏書ハ之ヲ禁ズル者ハ一月以上二年以下ノ懲罰ニ處スル以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其ノ他及テ教員ハ二等ノ加  
内務大臣ノ勅令ニ依リ又ハ奏書例第九條  
○勅令第六十三號  
陸海軍士並同僚等以上ノハ更ニ試験ヲ要スルニ任  
○勅令第六十二號  
陸海軍士並同僚等以上ノハ更ニ試験ヲ要スルニ任

○勅令第六十四號  
本年七月十四號  
○勅令第六十五號  
本年七月十四號  
○勅令第六十六號  
本年七月十四號  
○勅令第六十七號  
本年七月十四號

追放者の公示  
保安条例公布当日の新聞記事  
(へりかん社刊『朝野新聞 縮刷版』)



ノルマントン号事件の錦絵

警視總監三島通庸宛に報告されている。警察所長は学生の取締り強化を要請していた。保安条例発布前後は、学問と運動とが一体化した時期であった。  
前年末、明治法律学校はノルマントン号事件に関し、校友および学生ともに歎願書を提出していた。紀州沖で遭難した英船ノルマントン号での日本人乗客に対する対応に憤激し、不平等条約改正の必要を強調したのである。生徒総代のほか校友総代に齊藤孝治、平松福三郎、井本常治、野日本之助、小笠原久吉ら代五人五名を選び、外務省を訪問し、運動を継続した。条約問題は法律と三大事件とかわり、改正建白運動に連動するのである。

保安条例発布後間もなく、仏憲法講師光妙寺三郎は、「革命は権利なり」「決闘は文明の華なり」を演説し、時代の寵児となった。学校(現・早稲田大学)、東京専門学校(現・中央大学)、慶應義塾までもなく、世間一般も、気骨の継続を主張する光妙寺を歓迎したのである。保安条例ぐらいて政治運動は終わることなく、大同団結運動として一層盛り上がるようになった。

学費振込用紙の発送について  
後期分の振込用紙は、9月中旬に発送する予定です。納入期限は、10月20日(二部は12月20日)です。  
到着した振込用紙の金額・内容を必ずご確認の上、お振り込みください。  
住所・送付先等の変更がある場合は、所属する学部・短期大学の各事務室まで早急に「変更届」を提出してください。  
(問合せ先)  
財務部資金課 学費係  
TEL: 03-3296-4096・4097

# 明大ニュース

学長が新入生代表に「大辞林」贈呈

森田陽平さん、山本芽衣香さん

6月8日、明大和泉校舎において、2005年度入学式の新入生代表(宣誓)正・森田陽平さん(経営学部経営学科II写真左)と副・山本芽衣香さん(同II写真右)に、納谷廣美学長から記念品として「大辞林」が贈られた。



## 端艇部が3種目で優勝

ボート・全日本選手権

ボートの第83回全日本選手権が6月2日から5日にかけて、埼玉・

戸田ボートコースで行われ、明大端艇部が13種目中3種目で優勝を飾った。

男子は西川正芳(政経3)、杉谷晃直(法2)がダブルスカル、佐藤俊輔(文4)、加茂拓矢(政経2)、高橋遼平(理工2)がかじつきペアで優勝。女子は松尾美佳(商4)、加藤亜希(経営3)がかじなしペアを制した(写真)。

今回優勝した西川と河崎恵理(文3)は、2005年FISA世界ボート選手権大会(8月28日〜9月4日、岐阜・長良川国際レガッタコース)の日本代表に選抜されており、活躍が期待される。

▼男子ダブルスカルII ①明大(西川・杉谷) 7分2秒16

▼男子かじつきペアII ①明大(佐藤・加茂・高橋) 8分15秒28

▼女子かじなしペアII ①明大(松尾・加藤) 8分25秒27



[写真提供・明大スポーツ]

## 拳法部が連覇

日本拳法全国大学選抜選手権

第18回日本拳法全国大学選抜選手権大会が6月5日、早稲田大学限記念会堂で行われ、明大が2年連続4回目の優勝を果たした。

# 図書館からのお知らせ

図書館では前期試験を迎えるにあたり、貸出、返却、書庫への入庫ができる休日開館を実施します。

### ◆休日開館◆

▽中央図書館II

7月17・18・24日

開館時間…10時〜17時

マルチメディアエリア、ロダニールーム、共同閲覧室、地図室も利用できます。

▽和泉図書館II

7月10・17・18・24日

開館時間…10時〜17時

▽生田図書館II

7月17・18・24日

開館時間…10時〜17時

### ◆図書長期貸出◆

夏期休暇中は、次のように長期貸出を行いますので、ご利用ください。

▽貸出開始日II

全館共通・7月27日(水)

▽返却期限日II

全館共通・9月21日(水)

### ◆夏期休暇中の開館◆

8月1日(月)から9月19日(月)までの開館時間は次のとおりです。中央図書館、生田図書館の土・日開館は通常期の休日開館のサービスとなります。

▽中央図書館

月・金…10時〜19時50分

土・日…10時〜17時

▽和泉図書館

月・金…10時〜19時50分

土・日…10時〜17時

## 盗難注意のお知らせ

2005年6月

定期試験期は館内が混み合いますので、トイレやコピーで席を離れるわずかな時間でも貴重品は必ず携帯してください。